

知的所有権論 -知識と技術と創造の生かし方、護り方-

単位数		ナンバリングコード	
2		DIF405	
	教員名	平澤 卓人	
	専門	知的財産法	
	出身校等	慶應義塾大学法学部法律学科卒、北海道大学法学研究科法律実務専攻（法科大学院）修了、北海道大学法学研究科博士後期課程修了（博士）	
	現職	福岡大学法学部講師	
授業形態			
前期印刷授業・後期印刷授業			
授業範囲		試験範囲	
著作権法、特許法、不正競争防止法、商標法、意匠法		上記授業範囲と同じ（学習用プリント記載の範囲内のみ）	
		【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）と生成系AIの参照は不可とする。	
科目の概要			
知的財産法のうち、代表的な特許法と著作権法を重点に置いて解説し、不正競争防止法、商標法、意匠法も簡単に解説を行う。			
授業における学修の到達目標			
知的財産法の基本的考え方を習得する。			
講義の方針・計画			
1 知的財産法総論 2 著作権法総論、著作権法の保護対象 3 著作者、著作権者の確定 4 著作権侵害となる行為① 5 著作権侵害となる行為② 6 著作権の侵害主体論、著作権の制限 7 著作権の存続期間、著作者人格権、著作権侵害の効果、著作権の利用、著作隣接権 8 特許法総論、特許要件 9 特許権取得の手續、特許権の帰属 10 特許権の権利範囲 11 特許権の制限 12 特許権侵害の効果、特許権の利用 13 不正競争防止法における商品等表示の保護、営業秘密の保護 14 不正競争防止法における商品形態の保護、意匠法 15 商標法			

準備学習
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で60時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
成績評価の方法およびその基準
科目試験による評価100%
教科書
書名：『18歳からはじめる知的財産法』（2021） 著者名：大石玄＝佐藤豊編 発行所：法律文化社 ISBN：978-4-589-04164-7
参考書
書名：『入門 知的財産法』（第2版） 著者名：平嶋竜太、宮脇正晴、蘆立順美 発行所：有斐閣 ISBN：9784641243354
その他
なし
試験期間
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2024学年暦」を参照
学習プリント
あり
教職科目
注) 教職課程カリキュラム(22)以前の方が対象となります。
関連受講科目
なし
担当教員の実務経験
札幌市で13年間弁護士として活動し、知的財産法の訴訟や交渉、相談を経験しており、このような経験を踏まえた内容としている。